

**DMG森精機株式会社**

**2021年度第1四半期決算説明資料**

**2021年5月12日**

# 1. 第1四半期決算概要

## 2. 事業環境

## 3. 重点施策

① 中国事業強化

② マーケティング（デジタル/リアル）充実

③ デジタル化推進（*my* DMG MORI）

## 4. サステナビリティ経営の進捗

- ✓ 連結受注 1,014億円（前年同期比 29.5%増）、期初想定（850億円）以上の回復
- ✓ 機械本体の受注残高 1,240億円（2020年末 960億円）
- ✓ 営業増益確保
- ✓ 北京ショー（CIMT）リアル展示会好評
- ✓ 中国での生産能力拡大。工程集約、自動化需要増へ対応
  - 中国第二工場（上海）建設（2022年末完成予定）
  - 天津工場拡張（2024年完成予定）
- ✓ カーボンニュートラル・第三者保証取得。2030年へのロードマップ策定
- ✓ 通期業績見通し増額修正

## 2021年度 第1四半期決算概要

**DMG MORI**

- 連結受注は2019年第2四半期以来、7四半期ぶり1,000億円超
- 減収ながら、営業増益確保。当期利益も大幅改善

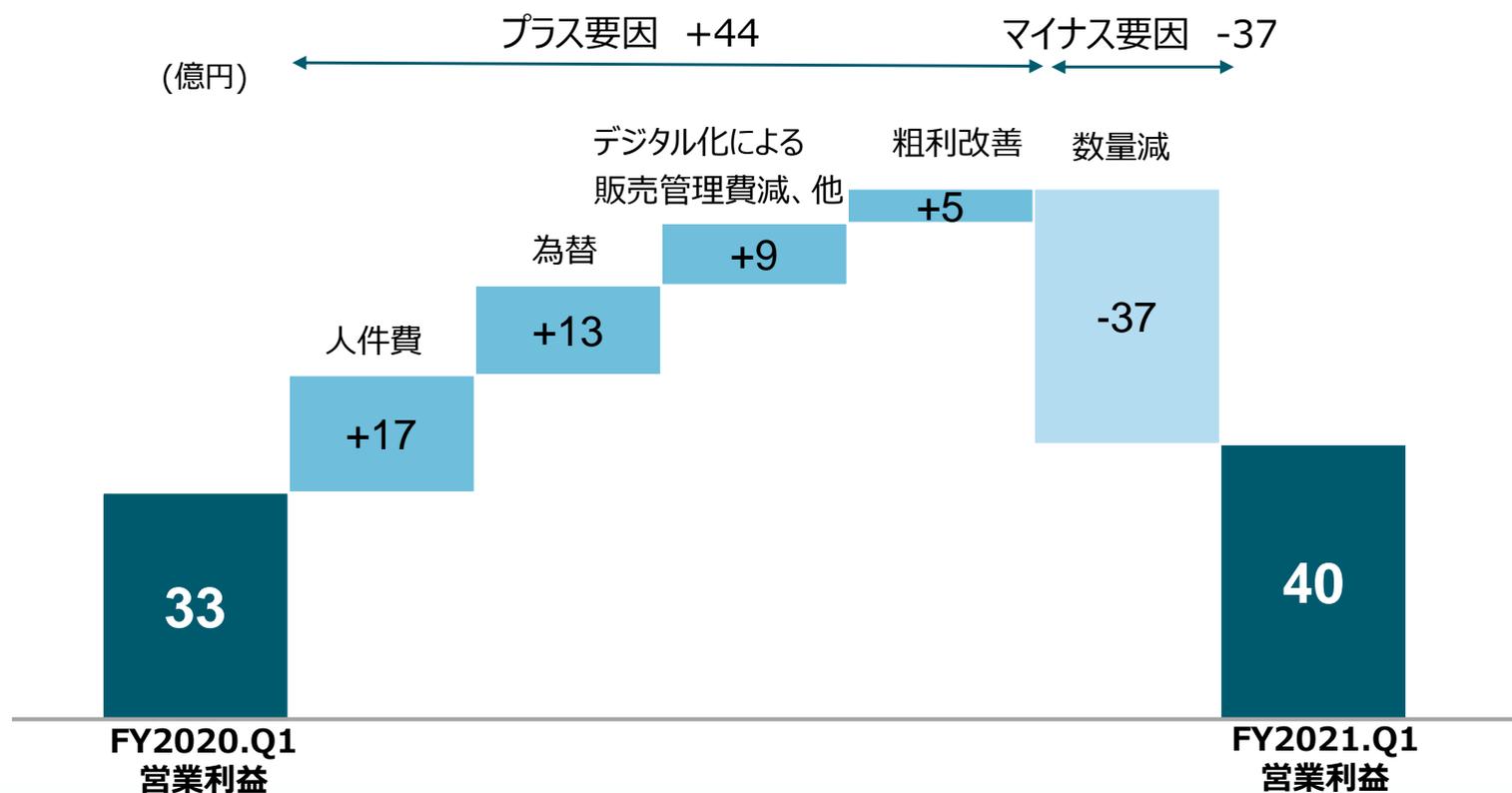
(億円)	2019年 Q1	2020年 Q1	2021年 Q1	増減 (%)
<b>連結受注</b>	1,191	783	<b>1,014</b>	+29.5%
<b>売上収益</b>	1,206	873	<b>811</b>	-7.0%
<b>営業利益</b>	104	33	<b>40</b>	+21.8%
営業利益率	8.6%	3.8%	4.9%	
<b>金融収支</b>	-16	-21	<b>-9</b>	
(内、トクミネーション・アグリーメントに伴う経済補償額)	(-9)	(-16)	(-5)	
<b>税引前利益</b>	88	13	<b>31</b>	2.5倍
<b>当期利益</b>	64	1	<b>18</b>	
<b>親会社所有者帰属利益</b>	62	1	<b>18</b>	
ハイブリッド資本の所有者に帰属する利益	3	3	<b>5</b>	
普通株主帰属四半期利益	59	-1	<b>13</b>	黒字化
<b>EPS・希薄化前 (円)</b>	48.74	-1.13	<b>10.38</b>	
償却費(リース含む)	55	59	<b>55</b>	
設備投資額	31	31	<b>44</b>	
USD/JPY	110.2	108.9	<b>105.9</b>	
EUR/JPY	125.2	120.1	<b>127.7</b>	

# 営業利益増減分析 2020年度Q1 vs 2021年度Q1

- お客様への価値提案による粗利改善継続、コスト管理の徹底
- 円安による期末外貨評価差益を計上

(億円)	FY2020Q1	FY2021Q1	増減
売上収益	873	811	-62

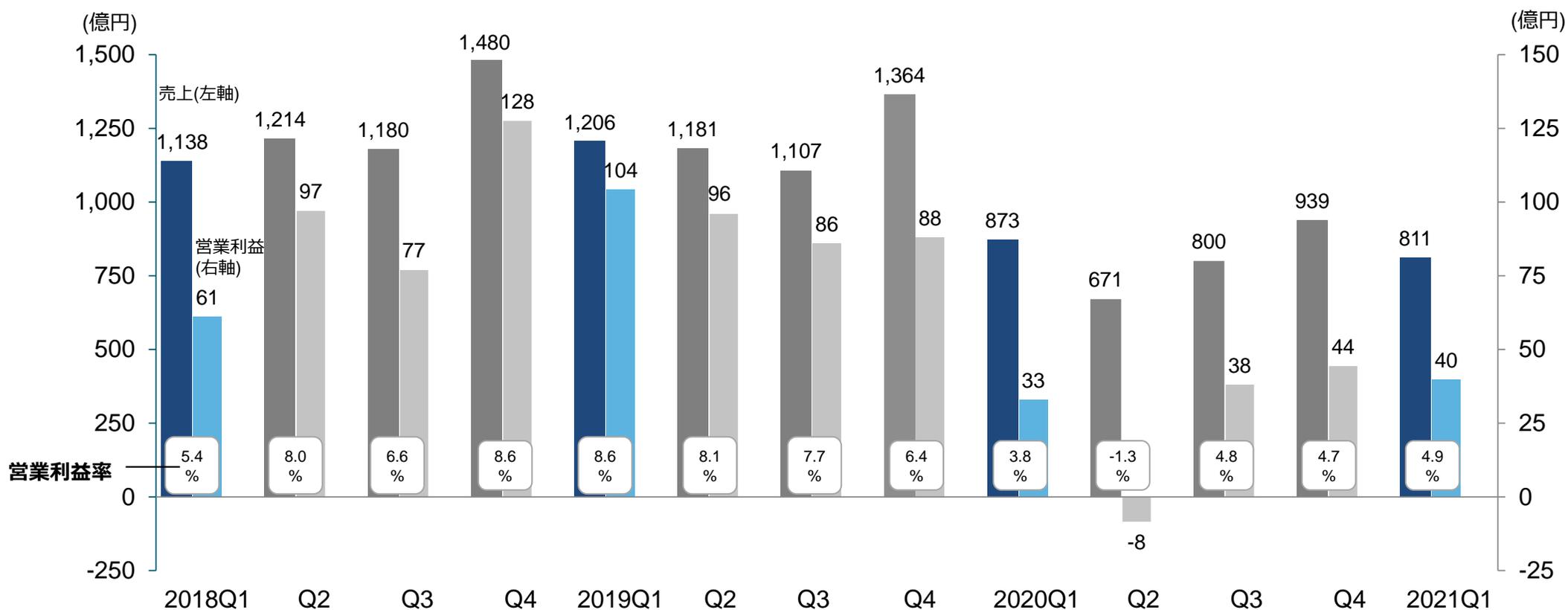
為替レート：	USD/円	<u>FY2020Q1</u>	<u>FY2021Q1</u>
	EUR/円	108.9	105.9
		120.1	127.7



## 四半期業績推移

**DMG MORI**

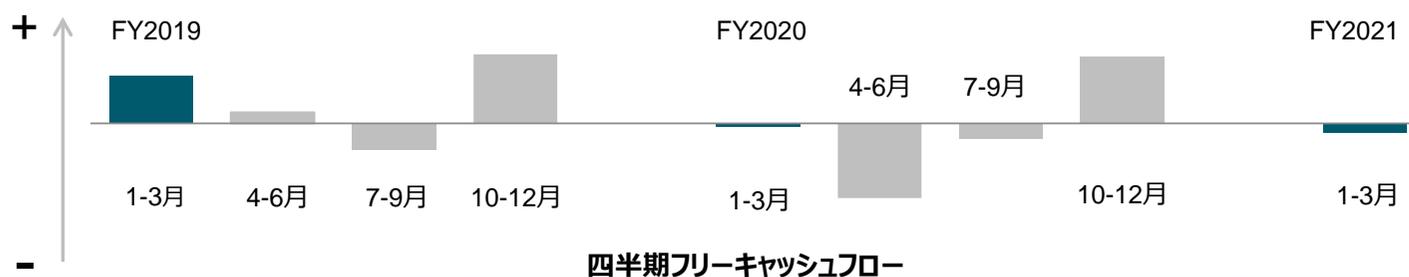
- ・ 営業利益率は2020年度第3四半期以降改善基調へ
- ・ 第1四半期の年度換算損益分岐点は前年度並みで推移



# キャッシュフロー

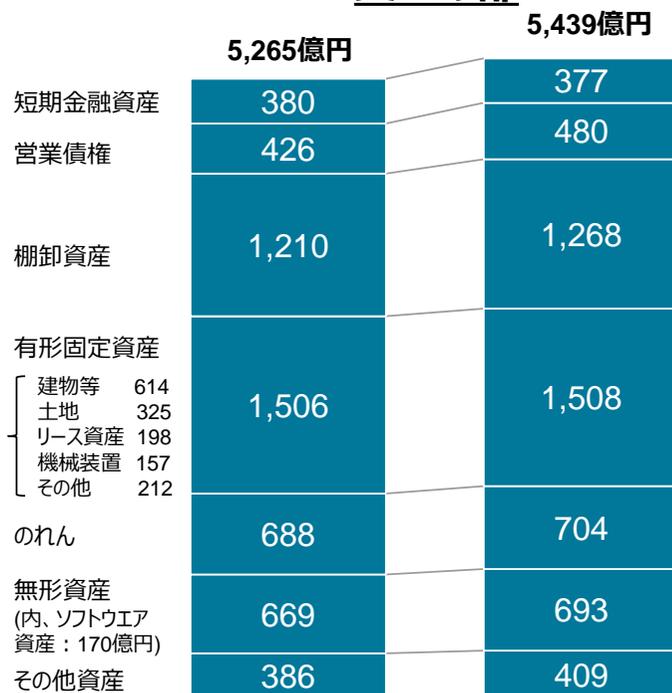
- 前受金はプラス転化。一方、下期売上増に向けて在庫投資が増加
- 年度でのフリーキャッシュフロー、100億円以上を計画。収益の改善、前受金の更なる増加が寄与

(億円)	2019					2020					2021		
	Q1	Q2	Q3	Q4	FY	Q1	Q2	Q3	Q4	FY	Q1		FY (計画)
<b>営業キャッシュフロー</b>	<b>130</b>	<b>38</b>	<b>43</b>	<b>225</b>	<b>436</b>	<b>25</b>	<b>-109</b>	<b>-5</b>	<b>226</b>	<b>136</b>	<b>26</b>		<b>250</b>
税引前四半期利益	88	82	71	74	315	13	-18	28	28	51	31		95
償却費	55	53	59	64	231	59	57	58	67	241	55		235
運転資本増減	35	-48	-51	22	-42	44	-106	-54	140	22	-35		50
その他	-48	-49	-36	65	-68	-90	-42	-37	-9	-178	-25		-130
<b>投資キャッシュフロー</b>	<b>-36</b>	<b>-16</b>	<b>-96</b>	<b>-87</b>	<b>-235</b>	<b>-31</b>	<b>-39</b>	<b>-25</b>	<b>-93</b>	<b>-189</b>	<b>-45</b>		<b>-150</b>
(うち有形・無形資産取得支出)	-31	-53	-43	-85	-212	-29	-41	-35	-96	-201	-44		
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>94</b>	<b>22</b>	<b>-52</b>	<b>137</b>	<b>201</b>	<b>-6</b>	<b>-149</b>	<b>-31</b>	<b>133</b>	<b>-52</b>	<b>-18</b>		<b>100</b>



- 運転資本増加により、一時的に純有利子負債増加
- 株主資本比率、純有利子負債比率は前年度末比ほぼ横ばい

## 資産の部

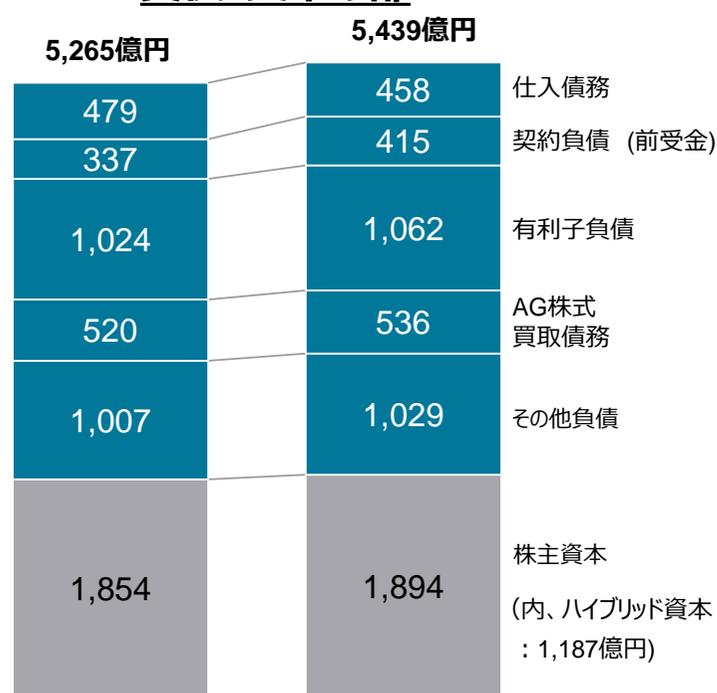


建物等 614  
 土地 325  
 リース資産 198  
 機械装置 154  
 その他 219

(円安により換算増)

(内、ソフトウェア  
資産：178億円)

## 負債・資本の部



	2020年12月末	2021年3月末
期末日レート (EUR / JPY)	127.0	129.8

	2020年12月末	2021年3月末
株主資本比率	35.2%	34.8%
Net D/Eレシオ	0.35	0.36

## 2021年12月期 通期予想

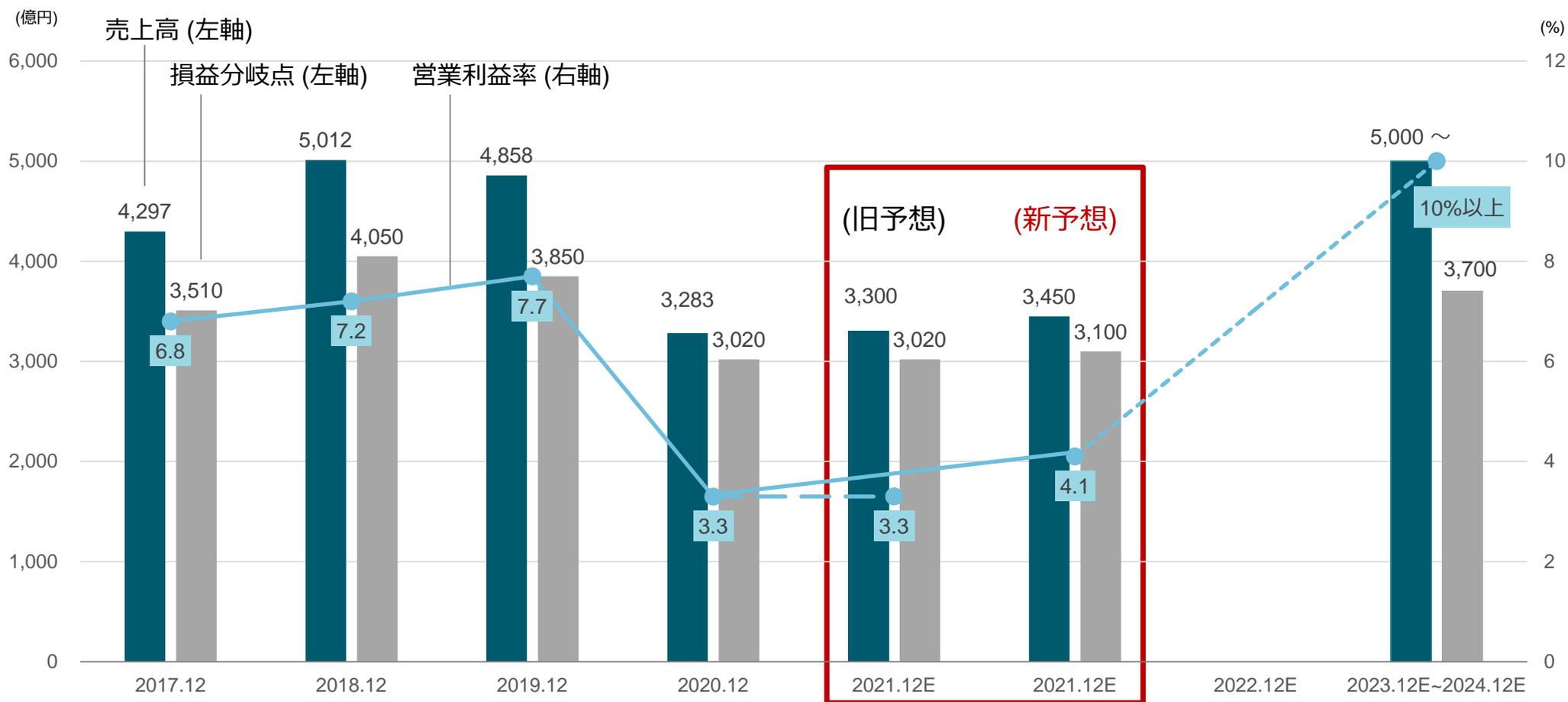
# DMG MORI

- 年度受注計画は前年度比43%増の4,000億円程度へ増額修正
- 第1四半期の受注増から売上、利益計画も増額修正

(億円)	2019年 実績	2020年 実績	2021年計画			
			(新)	YoY (%)	(従来)	修正額
連結受注	4,094	2,797	4,000程度	+43.0%	3,800程度	+200
売上収益	4,858	3,283	3,450	+5.1%	3,300	+150
営業利益	373	107	140	+31.2%	110	+30
営業利益率	7.7%	3.3%	4.1%		3.3%	
金融収支	-59	-56	-45	-	-45	-
(内、ドミネーション・アグリーメントに伴う経済補償額)	(-35)	(-30)	(-20)		(-20)	
税引前利益	315	51	95	+86.3%	65	+30
当期利益	189	17	60	3.5倍	40	
親会社所有者帰属利益	180	17	60		40	+20
ハイブリッド資本の所有者に帰属する利益	11	13	21		21	-
普通株主帰属利益	169	4	39		19	+20
EPS・希薄化前 (円)	138.64	3.40	31.15		15.07	
償却費(リース含む)	231	241	235		235	
設備投資額	212	201	150		150	
USD/JPY	109.1	106.8	105		105	
EUR/JPY	122.1	121.8	125		125	

# 損益分岐点売上高の管理徹底

- 需要の回復により昨年度大幅に削減した人件費を増額へ（国内従業員平均給与：643万円→710万円）
- 年度損益分岐点売上高は3,100億円程度へ（期初計画：3,020億円）



1. 第1四半期決算概要

2. 事業環境

3. 重点施策

① 中国事業強化

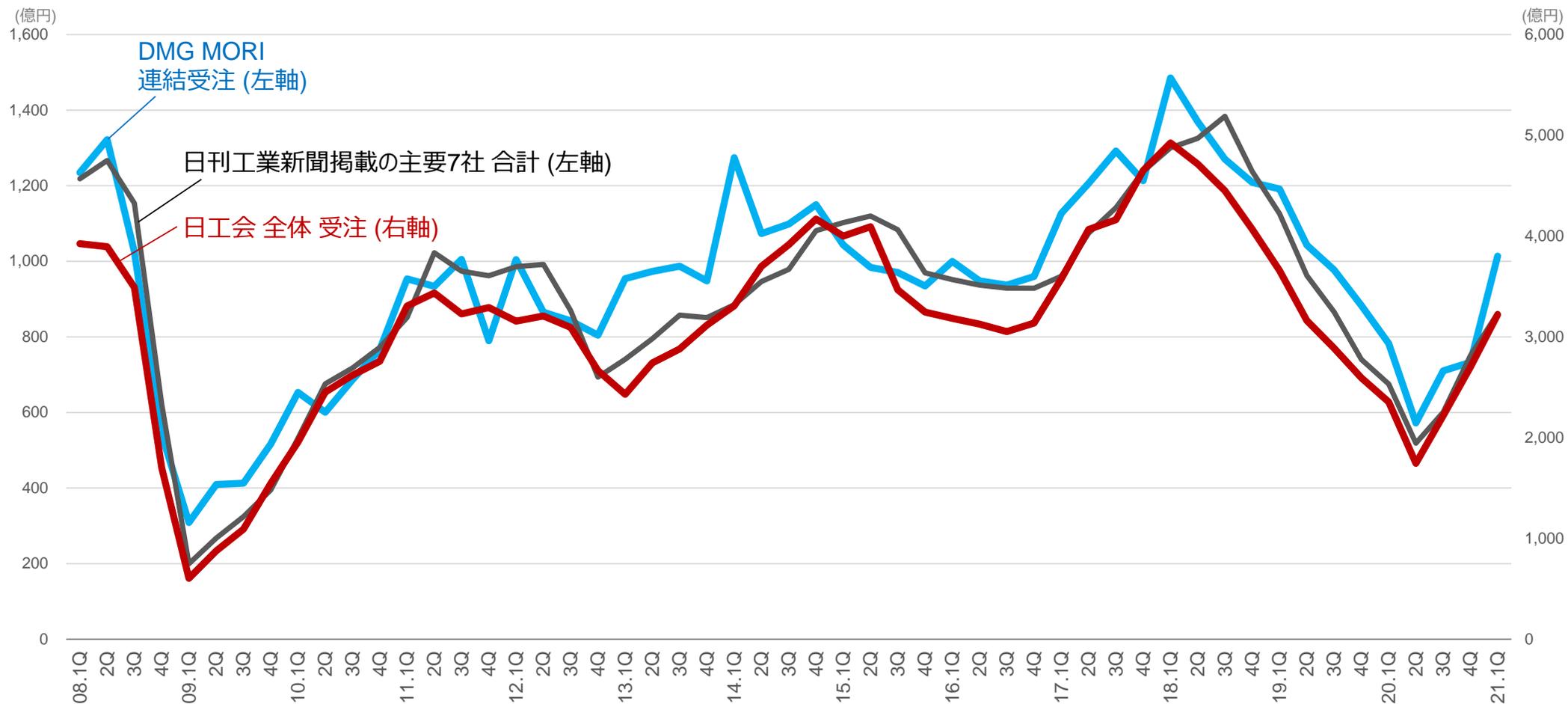
② マーケティング（デジタル/リアル）充実

③ デジタル化推進（*my* DMG MORI）

4. サステナビリティ経営の進捗

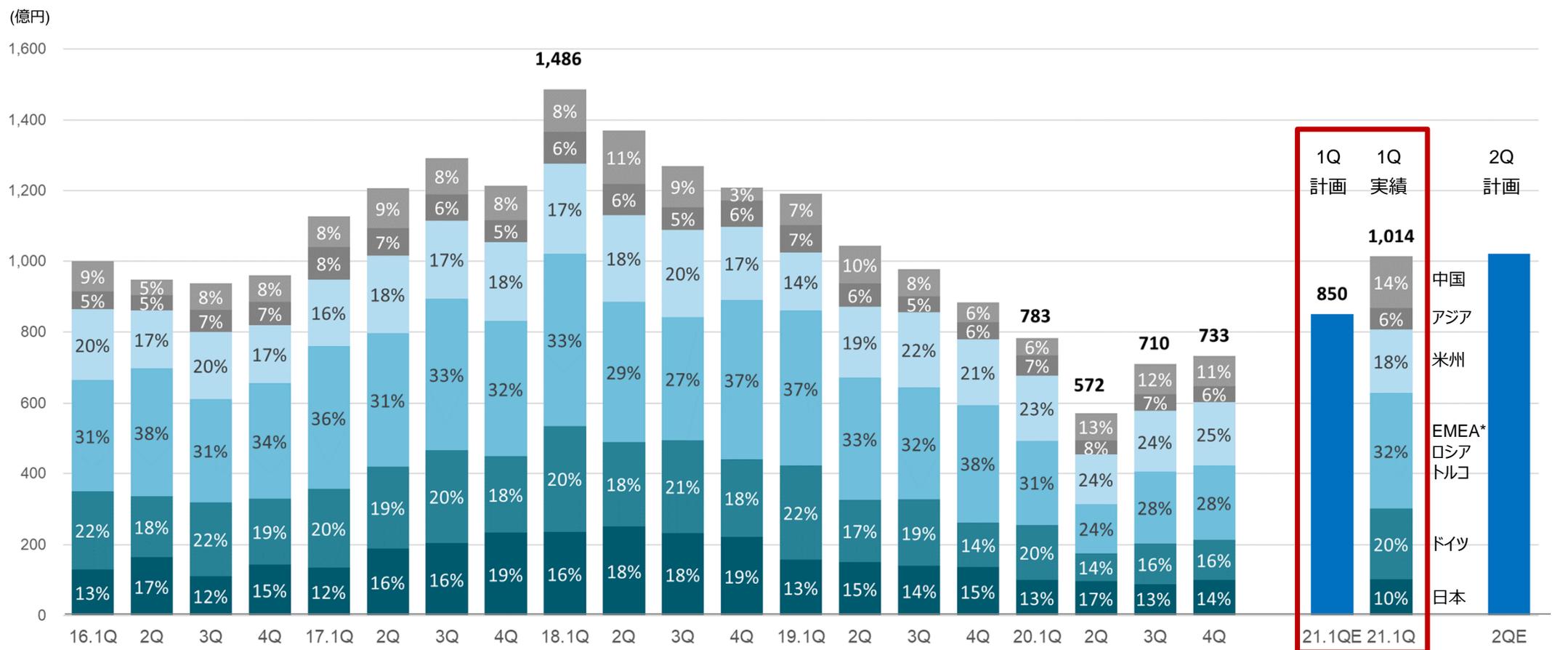
# 連結受注 vs 日本工作機械工業会（JMTBA）受注推移

- 第1四半期受注は業界を上回る伸び
- 中国、EMEAでの需要増が寄与



# 地域別受注構成 (連結受注)

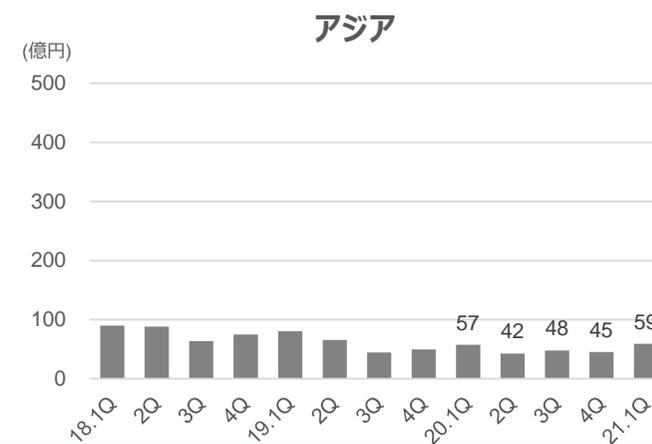
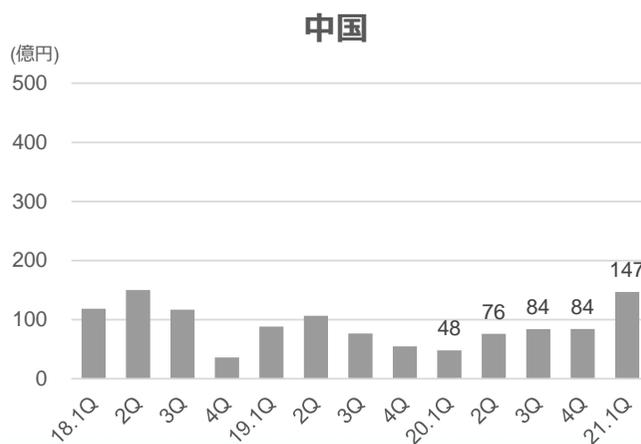
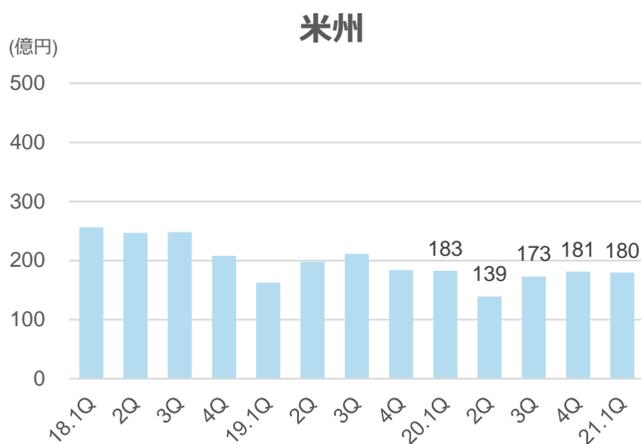
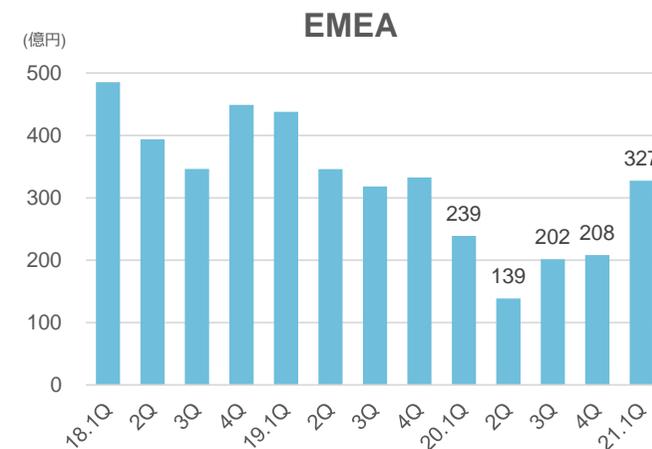
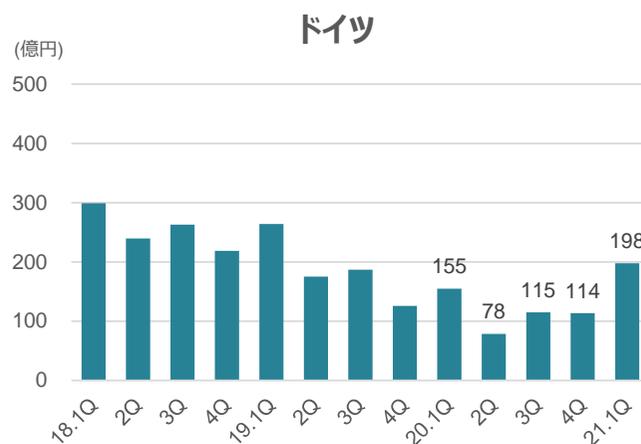
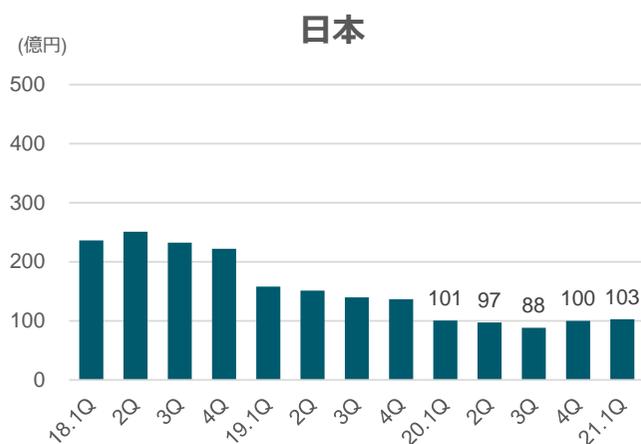
- 第1四半期受注は当初計画の850億円を大きく上回り1,014億円
- 第2四半期以降も現状の受注水準を維持の見込み



\*Europe, the Middle East and Africa

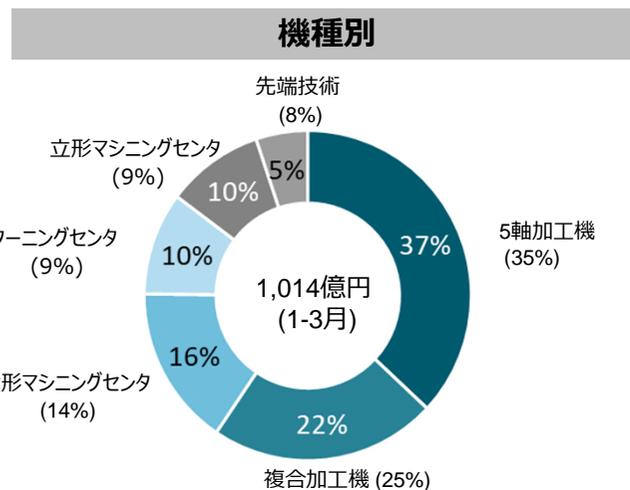
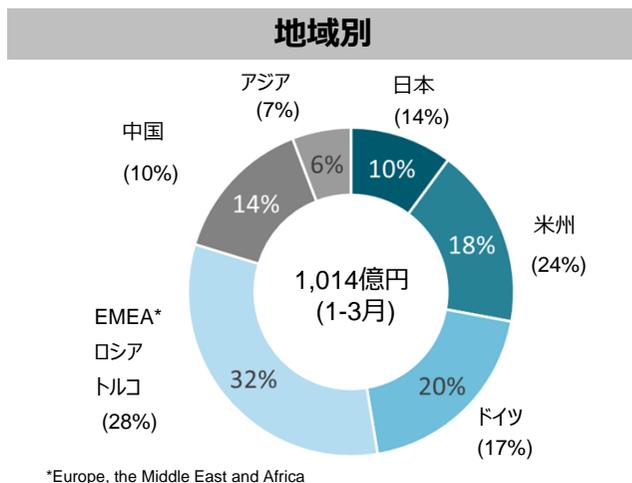
# 地域別受注推移

- 中国、欧州での受注回復が顕著
- 米州受注は堅調維持。日本受注も前年同期比プラスに転換

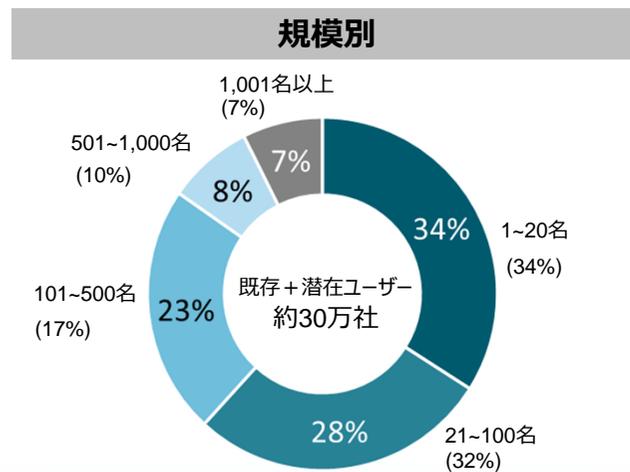
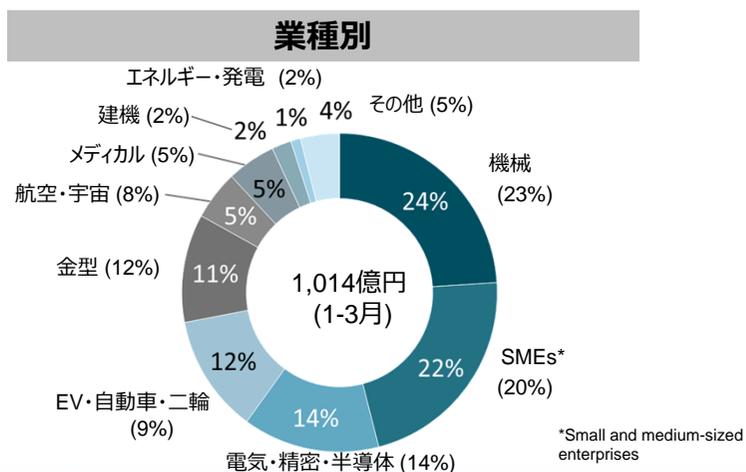


# 連結受注構成 (1月-3月)

- ドイツ及びEMEAの受注構成比が再び50%超へ
- 半導体、一般機械、SME、EV・自動車向け需要旺盛。民間航空機はさらに調整

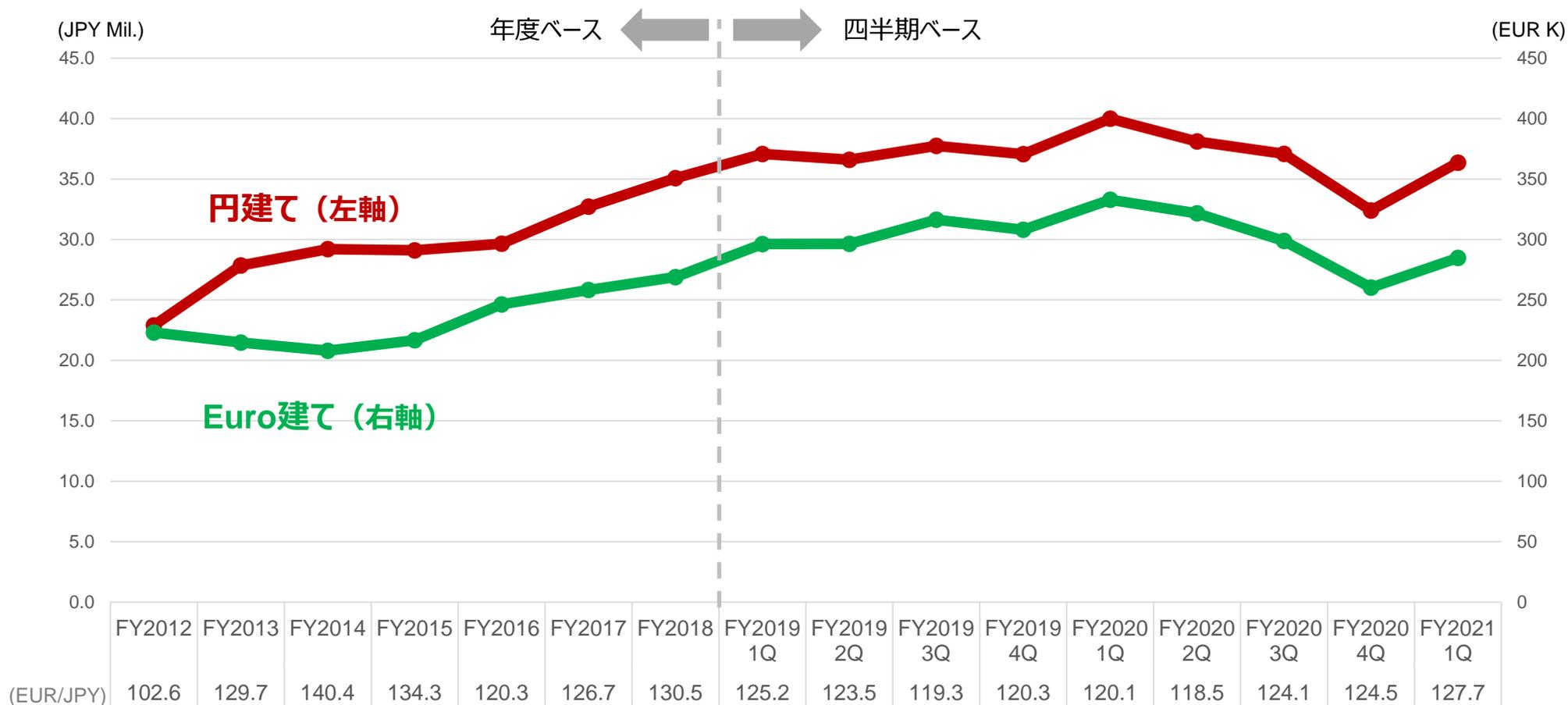


※金額ベース  
※カッコ内：2020年1-12月



# 1台あたりの機械受注単価推移

- 第1四半期から再度受注単価上昇基調へ
- 5軸機の需要増及び大型自動化案件増などが単価上昇を牽引



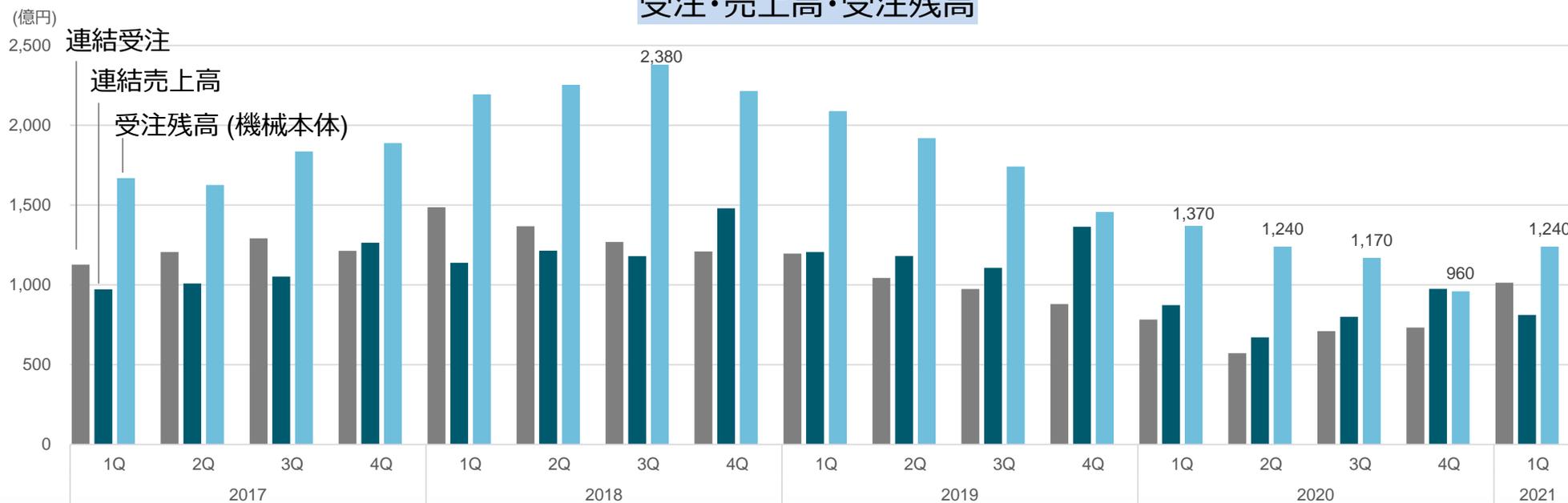
# 受注・受注残高の推移

- 工作機械本体の第1四半期末受注残高は1,240億円と前年度末比280億円増加
- 今年度末受注残高を1,400億円以上見込み、来年度以降の収益拡大確度を高める

Book-to-Bill レシオ



受注・売上高・受注残高



1. 第1四半期決算概要
2. 事業環境
3. 重点施策
  - ① 中国事業強化
  - ② マーケティング（デジタル/リアル）充実
  - ③ デジタル化推進（*my* DMG MORI）
4. サステナビリティ経営の進捗

# CIMT2021 : リアルの大型国際展示会

# DMG MORI

✔ CIMT2021 (China International Machine Tool Show, 北京)

✔ 期間 : 2021年4月12日-17日

✔ ブース来訪者数 : 約9,000名



## 1. DMG MORI AUTOMATION



## 2. TECHNOLOGY & TURNKEY EXCELLENCE



## 3. INTEGRATED DIGITIZATION



## 4. ADVANCED TECHNOLOGY



LASERTEC 20 Precision Tool  
ULTRASONIC 20 linear

## 5. CHINA PREMIER



DMU 65 H monoBLOCK

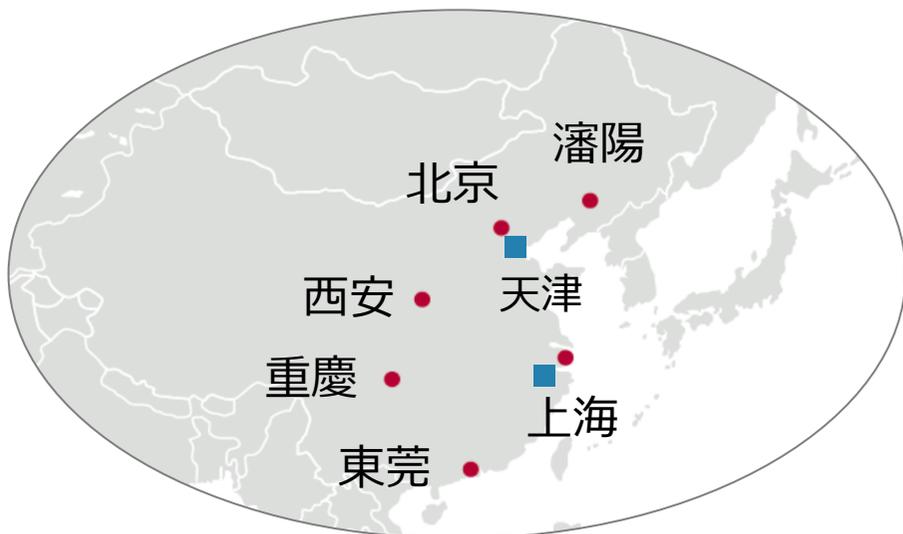


CLX 450 TC

# 中国での展開強化

中国での受注は、2021年Q1に記録更新 (EUR 85Mil.)

## 中国 セールス・サービス・生産拠点



● セールス・サービス拠点    ■ 生産拠点(計画含む)

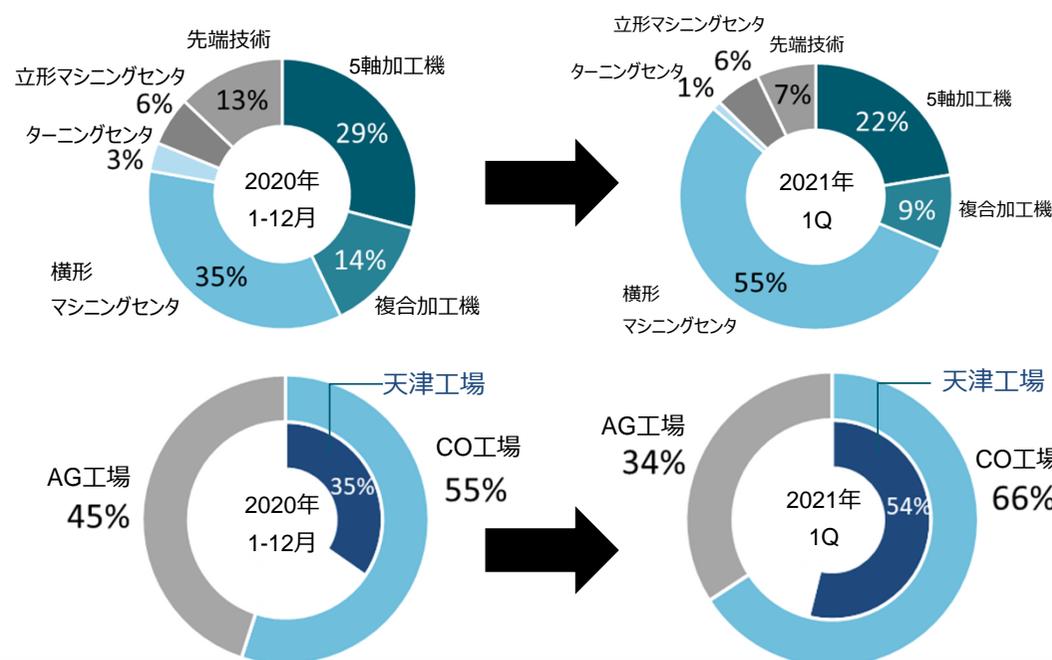
## 従業員数 (2021年3月末)

セールス・サービス : 約330名  
 天津工場 : 約140名

## 現地生産能力拡大

- ・中国での工程集約・自動化ニーズに対応
- ・短納期需要対応
- ・現地生産により、輸送等に伴うCO<sub>2</sub>削減

## 中国 受注構成 (機種別 / 生産地別)



## 中国に第2の生産拠点新設（上海近郊）

**DMG MORI**



### DMG MORI Pinghu Manufacturing Solutions（仮称）概要

敷地面積	70,000㎡
生産品目	5軸加工機 DMUシリーズ（中国向け仕様）
生産能力	1,000台/年
総投資予定金額	50百万ユーロ / 約63億円（1ユーロ = 125円換算）
完成時期	2022年末予定（2023年操業開始予定）



### 上海から車で約1時間のロケーション



By Google Map

# 天津工場の拡張

新工場 建設エリア



天津工場 (現在)

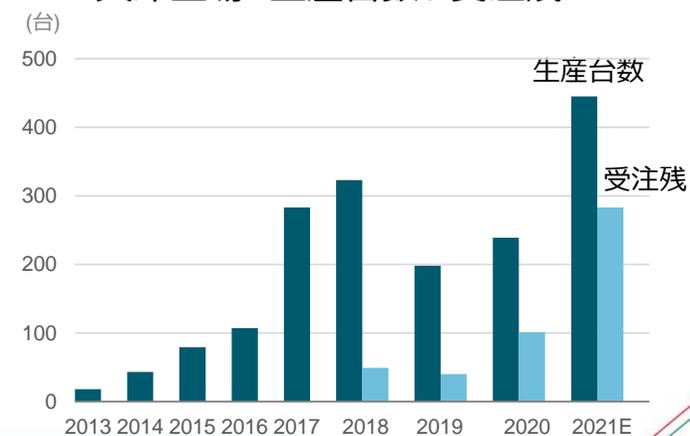


## 天津工場 新工場概要

敷地面積	約90,000㎡ (現在の工場を含む)
建物面積	約20,000㎡ (新工場)、約22,000㎡ (現在の工場)
生産品目	横形マシニングセンタ : NHC シリーズ 立形マシニングセンタ : CMX Vc シリーズ 自動化システム (LPP, CPP, RPS) 主要ユニット部品 (マガジン、テーブル、APC)
生産能力	1,000台/年 (現在の工場を含む)
総投資予定金額	30億円
完成時期	2024年完成予定 (2025年1月操業開始予定)



天津工場 生産台数 / 受注残



# マーケティング (デジタル / リアル)

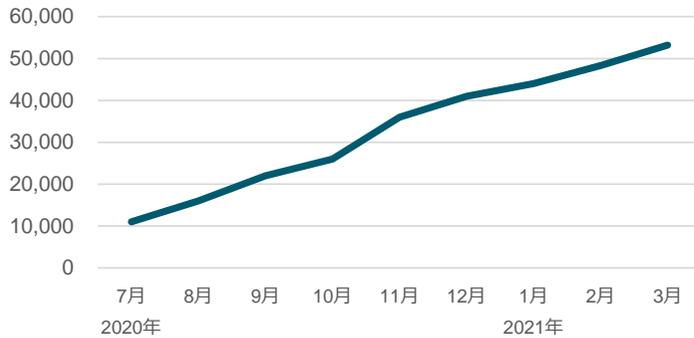
# DMG MORI

## デジタルツインショールーム



2020年7月以降  
累計 約53,000 アクセス

デジタルツインショールーム累積アクセス数(回)  
(日本語サイトのみ)

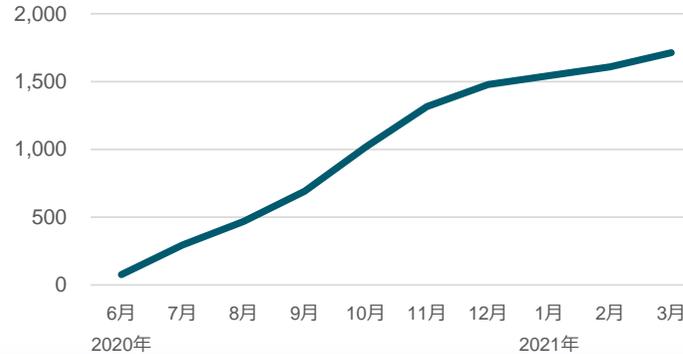


## テクノロジーフライデー

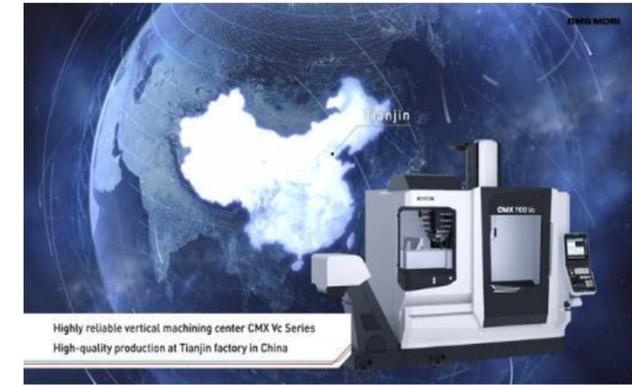


2021年1月-3月  
伊賀 10回 / 約230名  
\*東京開催は緊急事態宣言発令にともない中止

テクノロジーフライデー累積来場者数

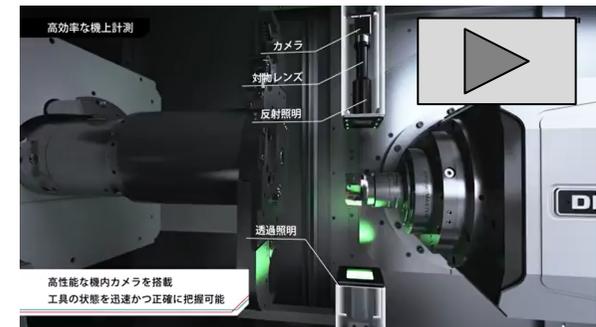


## 映像・デジタルカタログ



2021年1月-3月  
映像配信 約30本

### 動画公開(例)：ツールビジュアライザー



<https://www.youtube.com/watch?v=EA1r35loa-4>

# デジタルツインショールームの充実

## ✔ ビジネスユーザビリティの強化

+ 5月  
機械一覧機能



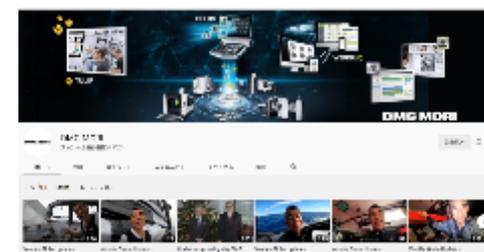
+ 5月  
中国語版 オープン  
Chinese room open



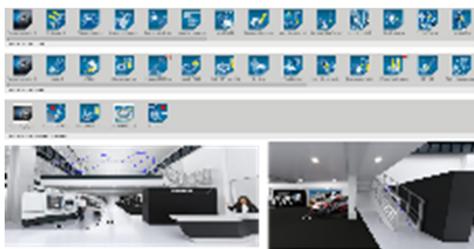
+ 5月  
360°VIEW ポップアップ



+ 5月  
ドイツ語版 DTSR  
German room open



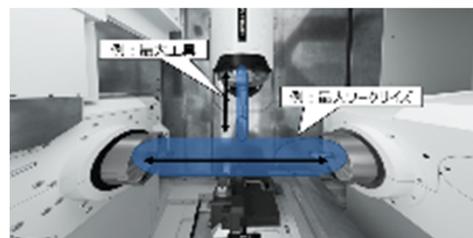
+ 7月  
テクノロジーサイクルコーナー



+ 7月  
加工ワークVIEW機能



+ 7月  
機内VIEW 仕様情報機能



+ 7月  
仕様選択型TOP VIEW



# 5軸加工研究会 取り組み強化

## 5軸加工研究会

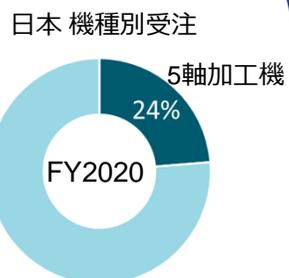


↑  
2021年 取り組み強化

会員企業 98社\*



\*2021年2月時点

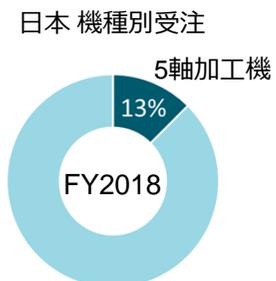


2018年 5軸加工研究会発足

70周年記念行事

70社

70台貸出



## 会員企業向け活動内容

- ・プライベートレッスン 月2回
- ・オンラインセミナー 月1回
- ・バーチャル交流会
- ・5軸コンテスト開催
- ・会報誌「DISCOVERY」発行
- ・会員専用ウェブサイト開設



プライベートレッスン



バーチャル交流会

# my DMG MORI 新機能「サービスリクエスト」を開始

**DMG MORI**

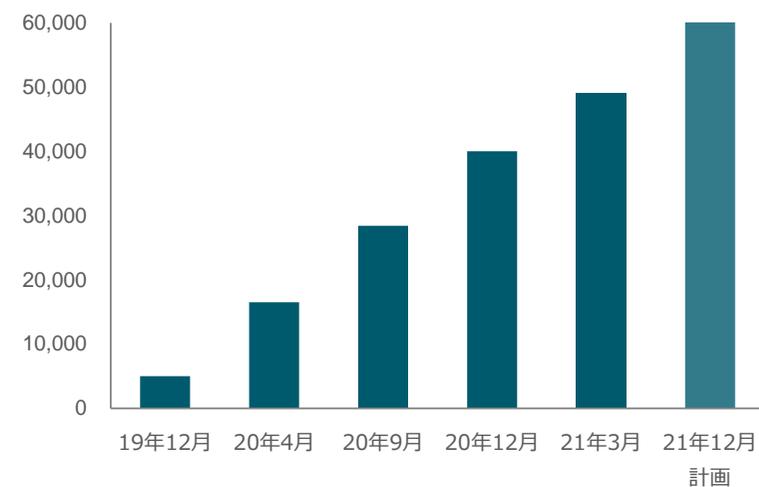
NEW

- サービスリクエスト ・画像、ビデオ、プログラムなどのデジタルデータで、お客様から連絡
- ・お客様から見た工作機械の状況、支援要請をプラットフォームで可視化
- ・オンラインでの修理依頼・部品注文、プログラム・周辺装置に関する相談
- ・時間短縮、納期・訪問日を明確化

## サービスリクエスト



my DMG MORI 登録件数 (グローバル)



# 1. 第1四半期決算概要

# 2. 事業環境

# 3. 重点施策

① 中国事業強化

② マーケティング（デジタル/リアル）充実

③ デジタル化推進（*my* DMG MORI）

# 4. サステナビリティ経営の進捗

# 全世界でカーボンニュートラル達成

# DMG MORI

✓ グループ全体で、2021年度の事業活動および部品調達から商品の出荷までのCO<sub>2</sub>排出量の**カーボンニュートラルを達成**

+ 第三者機関（PricewaterhouseCoopers GmbH）の保証取得



DMG MORI CO  
2021年3月



DMG MORI AG  
2020年10月



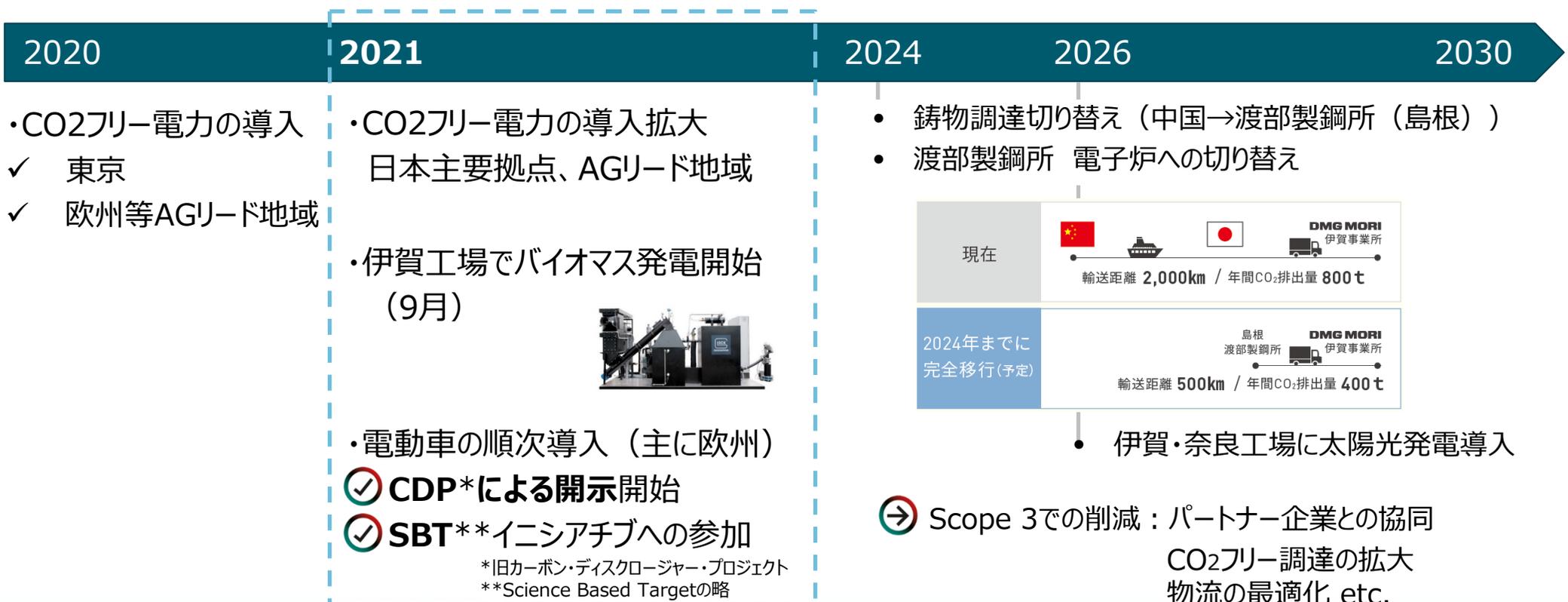
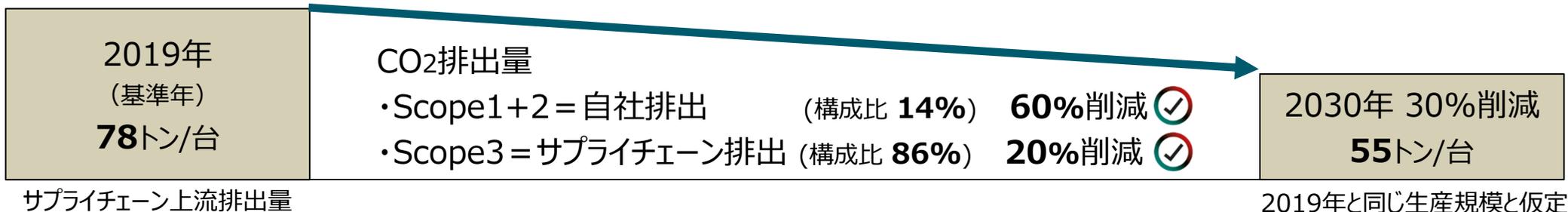
**カーボンニュートラル生産体制を実現**  
2021年1月からCO<sub>2</sub> neutralマークを商品に貼付して出荷



DMG MORIカーボンニュートラルレポート及び当社のサステナビリティへの取組みは以下のWebサイトで紹介しています。

<https://www.dmgmori.co.jp/corporate/sustainability/index.html>

# CO2排出量削減にむけた行動計画



2021年1月に発表した「DMG森精機 健康経営宣言」のもと、健康施策を実施中

## 具体的な取り組み

### □ 従業員一人ひとりの健康増進施策

産業保健スタッフが従業員個々への継続的なアプローチ

➤ 全従業員へ人間ドック受診を義務化、要二次健診者に対する受診勧奨



➤ 特定保健指導

（運動教室 / 運動、食事、禁煙等について産業保健スタッフによる個別指導）

➤ PCR検査装置 導入予定

➤ 労働時間管理

（在社10時間、12時間インターバル）

➤ 健康を意識した食事提供

➤ 健康に関するe-learning

➤ 専属産業医による講義（メンタルヘルス、口腔衛生、運動等）



遺伝子解析装置 AutoAmp  
（出典：株式会社島津製作所の  
カタログより）



運動教室

▶ 理学療法士を講師に迎え、運動指導を実施



サラダバー

▶ 従業員食堂にて、新鮮な野菜を提供  
（株式会社坂ノ途中と提携）

### □ 健康リテラシーの向上に向けた取り組み

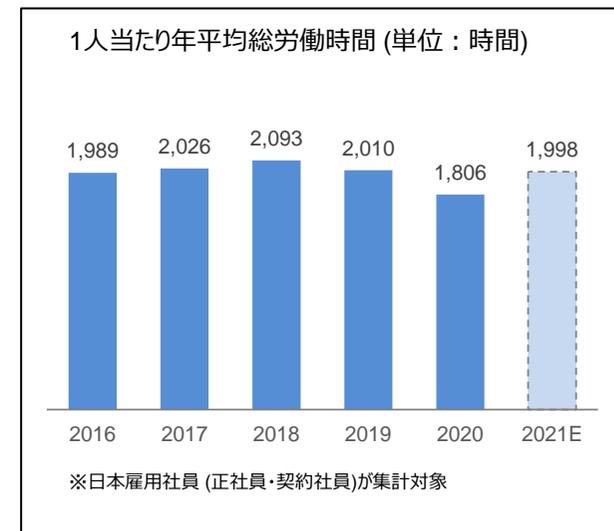
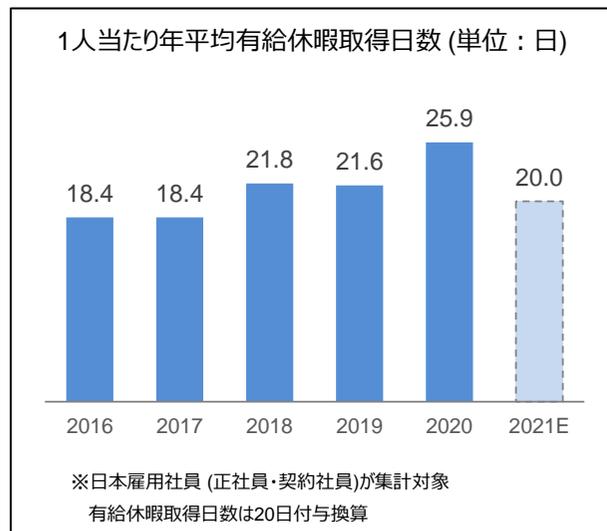
健康とよりよい生活習慣に関する理解向上のための機会提供

- 「有給休暇取得率が高い会社」1位にランキング (2019年度基準)
- 有給休暇取得日数や総労働時間の進捗を管理徹底し、従業員の生産性向上・効率的な働き方を追求

■有給休暇取得率トップ200

順位	社名	業種	3年平均取得率 (%)	2019年度取得率 (%)	3年平均付与日数 (日)
1	DMG森精機	機械	101.5	106.1	19.2
2	ホンダ	輸送用機器	99.6	100.0	19.0
3	アイシン	輸送用機器	98.6	98.7	19.6
4	関西電力	電気・ガス業	98.5	97.8	19.9
5	テイ・エス テック	輸送用機器	98.2	99.6	18.7
6	旧ケーヒン	輸送用機器	98.1	97.0	19.1
7	コマツ	機械	98.0	99.5	20.0
8	ダイハツ工業	輸送用機器	97.8	99.5	19.7
9	京浜急行電鉄	陸運業	97.5	97.8	18.5
10	東海理化	輸送用機器	96.9	89.8	19.6
11	豊田自動織機	輸送用機器	95.9	96.9	19.5
12	トヨタ車体	輸送用機器	94.8	95.3	19.5
13	ダイキン工業	機械	94.7	95.7	21.3
//	NTT東日本	情報・通信業	94.7	89.1	20.0
15	日本電信電話	情報・通信業	94.5	88.7	20.0
16	S C S K	情報・通信業	94.4	92.5	19.6
17	豊田合成	輸送用機器	94.3	94.3	19.5
18	クボタ	機械	92.9	93.5	19.8
//	デンソー	輸送用機器	92.9	101.4	19.9
20	A G C	ガラス・土石製品	92.7	91.4	19.8
21	トヨタ自動車	輸送用機器	92.3	91.4	19.7
22	N T N	機械	92.1	94.7	18.9
23	東亜合成	化学	92.0	89.3	19.4
//	大阪ガス	電気・ガス業	92.0	90.0	19.4
25	ゆうちょ銀行	銀行業	91.6	94.3	20.0

＜2021年度は需要増により適正水準へ＞



よく遊び = 心身の健康  
よく学び = 技術及び技能の変化に適応  
よく働く = 成果を重視、生産性向上

DMG森精機 経営理念「よく遊び、よく学び、よく働く」

出典：東洋経済 2021/4/26

『「有給休暇」の取得率が高い会社トップ200』

# 奈良商品開発センタ(Nara Product Development Center)

**DMG MORI**

✔ デジタル・トランスフォーメーション(DX) と先進技術の開発拠点を奈良駅前に建設中

## <開発対象分野>

- 5G を使ったデジタル通信技術
- 人工知能(AI)
- クラウドコンピューティング
- デジタルツイン 等

## <概要>

- 開所予定 2022年4月末(予定)
- 建物 6階建て
- 従業員 約300名

南面より撮影  
(2021年4月21日時点)



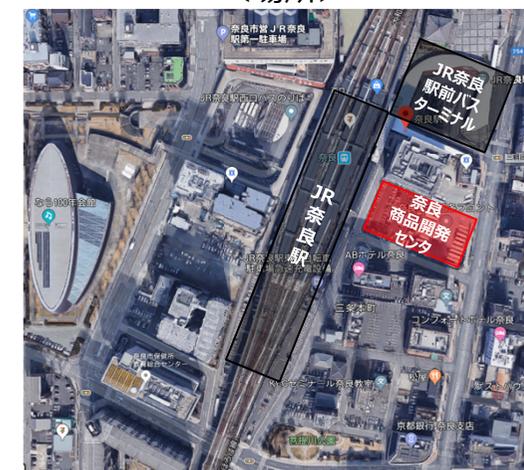
建物完成図



建物内観



<場所>



By Google Map

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。  
これらの将来に関する記述は、  
当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。  
今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。  
なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 当グループが営業活動を行っている市場内における需要環境の変化
- 為替相場の変動
- 当グループが営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当グループが営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
- 独禁法や輸出管理規制等関連する法規制又はその所轄当局による運用の変更